



きょうせい

共生 グローバルジャーナル

KYOSEI Global Journal

vol.01



きょうぞん きょうせい

「共存から共生へ」

たかはし のぶゆき

高橋 信行

N.T.グループ会長

げんざい にほんこくない ぎのうじっしゅう とくていぎ
現在、日本国内では技能実習、特定技
のう しゅうろう がい
能、EPAなどのビザで就労している外
こくじん かたがた ぞうか
国人の方々が増加しています。

このような中、日本での生活において
ちよくめん かだい ふあん かいしょう かい
直面する課題や不安を解消し、より快
てき く いっばん
適な暮らしをサポートするため、一般
ざいだん ほうじん きょうせい しえん せつりつ
財団法人「共生支援センター」を設立
しました。

このセンターの活動の一環として、外
こくじん みな やくだ じょうほう とど
国人の皆さまに役立つ情報をお届けし
ていきます。

ぜひ、この情報誌や当センターをご活
よう いただき にほん せいかつ じゅうじつ
用いただき、日本での生活がより充実
したものになれば幸いです。

英語

The number of foreigners working in Japan with visas, such as Technical Intern Trainees, Specified Skilled Workers, and EPA, is increasing.

In response to this trend, we have established the "Kyosei Support Center," a general incorporated foundation that helps foreign residents overcome challenges and concerns they may face daily in Japan and live more comfortably.

As part of our activities, we will provide helpful information to foreign residents.

We hope that this publication and our center will be helpful to you and contribute to making your life in Japan more fulfilling.

ベトナム語

Hiện nay, số lượng người nước ngoài làm việc tại Nhật Bản theo các loại visa như thực tập sinh kỹ năng, kỹ năng đặc định và EPA đang gia tăng.

Trong bối cảnh đó, để giải quyết những vấn đề và lo lắng xảy ra trong cuộc sống tại Nhật, cũng như hỗ trợ để các bạn có một cuộc sống thoải mái hơn, chúng tôi đã thành lập Trung tâm hỗ trợ Hòa Nhập.

Như một phần trong các hoạt động của trung tâm, chúng tôi sẽ cung cấp những thông tin hữu ích cho người nước ngoài đang sinh sống và làm việc tại Nhật Bản.

Chúng tôi hy vọng rằng các bạn có thể tận dụng những thông tin này và các dịch vụ khác của trung tâm để có một cuộc sống trọn vẹn hơn tại đây.

ほんとう にほん い
『本当は日本に行きたくなかった』

ななころ やお じんせい
マリさんの七転び八起き人生



オルカ・マリシエルさん

いりょう・かいご しゃかいふくしほうじん いけだ かい
ポプラ医療・介護グループ 社会福祉法人池田さつき会
ほうじんほんぶかいがいじんざいいくせいかりちよう
法人本部海外人材育成係長

フィリピン人介護福祉士のオルカ・マリシエルさんは、2009年にEPAの第1陣として来日し、3年後にEPAフィリピン人介護福祉士第1号となった。2021年には「ポプラ上新庄」の副施設長に就任し、現在は海外人材育成係長として、92名の外国人スタッフの指導や生活支援を担う重要な役割を果たしている。

らいにちけい ■来日経緯

ジョージ: マリシエルさんが日本で働くことになったきっかけは何ですか？
なぜ日本だったのですか。

マリシエル: 「本当は日本に来たくなかったんです。

当時は日本語が話せなかったからです。

ですが、選択肢を広げるために介護の勉強をして、フィリピンで介護スタッフを募集していたN.T.Groupに採用されて、日本語を勉強しながら働くようになりました。

その後、2009年にEPA第1陣で来日し、幸い日本語レベルが十分だったこともあり、語学研修が免除され、すぐに働き始めました。現在は、海外人材の研修リーダーとして日々奮闘しています。

日本語も介護の経験も増えるにつれ、日本で働くのもいいかもしれないと思うようになり、日本とのつながりの意義を実感するようになりました。



■日本でよかったこと

ジョージ：日本に来てよかったことは何ですか。

マリシェル：多くの支えの中で様々な経験を積み、辛くてもきっと明日はいいことがあると思っ
て、前向きに努力してきました。最初は日本人の高齢者に受け入れられず辛い思いをしま
しましたが、信頼関係を築くことで親しみを持って「マリさん」と呼ばれるようになりました
。外国人は日本語の壁があるため、仕事のコミュニケーションに困ったり、病院受診時の
サポート不在を経験したりすると思います。そんなときは我慢せず、体調が優れない時は、
会社とよく相談して病院に行くよう伝えたいです。



■日本での生活

ジョージ：日本での生活を振り返ってどうですか。

マリシェル：日本で介護の仕事をして良かったと感じています。

また、NTグループとのご縁があり、大変お世話になり感謝しています。



■後輩へのアドバイス

ジョージ：後輩たちへのアドバイスは何かありますか。

マリシェル：日本に限らず、どの国でも文化の違いはあるので、大切なのは、諦めずにしっ
かり頑張り、自信を持って仕事に取り組むことだと思います。

■好きな言葉

ジョージ：最後にマリシェルさんの好きな言葉は何ですか。

マリシェル：「七転び八起き」という言葉が好きです。

ジョージ：辛いことがあっても、前向きに起き上がる、マリさんの「七転び八起き」人生。
本日はお忙しいところありがとうございました。

インタビューアー



プリマベラ・ジョージ

日本ペトロ株式会社 トータルケア事業部
公益財団法人 東亜総研 大阪事務所

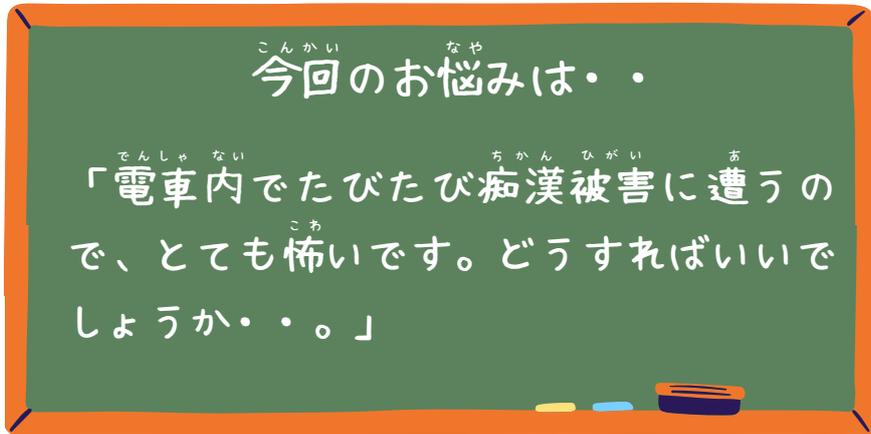
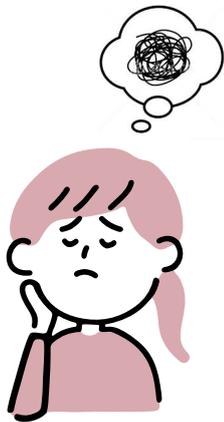
フィリピン出身。
国際大学（新潟県）、京都大学大学院経済研究科に留学。
金型メーカー勤務などを経て、現在、日本ペトロと
東亜総研で在日フィリピン人をサポートしている。



素敵な日本人妻と
可愛い娘3人、家族5人で
楽しく暮らしています！

お役立ち情報

第1回 「痴漢に遭ったときは!？」



解決方法は!？



弊社の職員が痴漢に遭う女性の通勤に付き添ったところ、いつもの痴漢が現れたので、職員が機転を利かせ、皆で記念写真を撮るように装い、見事この人物の顔を記録におさめました。その写真を持って警察に相談に行ったところ、警察からこの人物に直接注意が行われ、その後、痴漢被害はおさまりました!! 解決できて本当に良かったですね。

困ったときは必ずご相談ください!

一般財団法人 共生支援センター

KYOSEI Support Center

所在地 大阪市北区梅田1-2-2-1000
大阪駅前第2ビル10階

担当者 小牧、高橋

メール info.kyosei.nt@gmail.com

電話 06-6348-8585

hello



英語、ベトナム語で
ご覧になりたい方は
こちら!



介護福祉士 国家試験受験講座

受講生募集中!

言葉の壁を越え、介護福祉士へ!

講座期間

2025年3月~2028年1月
週1回、9:00-15:00 (内1時間休憩)

受講条件

EPA介護福祉士候補生
外国人介護士でN3取得者